

委員： _____

1 全体

男女共同参画推進協議会の意見として、次の内容を事業の主管課及び男女共同参画管理会議に報告してよろしいでしょうか。

異議なし・・・全委員

異議あり

(番号と理由)

NO	意見
1	今後、新型コロナウイルスの影響で、予定通り事業が実施できないことが想定される。その場合でも対応できるように計画を立てるべきである。
2	目標や計画における働きかけについて、「どこへ」「どのように」といった様にもう少し具体的に作成することで推進意識も高まると思う。また、事業によっては、高い目標設定が無理なく着実な目標設定にするか等考慮すべき必要があると思う。
3	目標・計画に数値が設定できるものであっても設定されていない事業が多い。進捗状況を把握する為には、極力、事業目標や事業計画に数値を設定することが望ましいと思う。

2 資料1【平塚市の現状】

男女共同参画推進協議会の意見として、次の内容を事業の主管課及び男女共同参画管理会議に報告してよろしいでしょうか。

・異議なし・・・全委員

・異議あり

(番号と理由)

番号	意見
7	女性割合が低い。0%はもとより、20%未満の委員会も問題と考える。
8	女性割合が低い。0%はもとより、20%未満の委員会も問題と考える。
10	女性割合が低い。0%はもとより、20%未満の委員会も問題と考える。
15	女性割合が下がっている。上げるためにはどのような対策が必要か。
26	H30年度のもの、まだ公表されていないのか。 H30年度のもの、公表済みです。全職種は16時間で前年度と変わらず、一般行政職は15時間で前年度から1時間減りました。
27	H30年度のもの、まだ公表されていないのか。 H30年度のもの、公表済みです。全職種は81.4%で前年度から約4ポイント下がり、一般行政職は95.5%で前年度から約2ポイント上がりました。
31	育児休業を取得した男性職員7名は、どれくらいの期間取得したのか。

※太枠で囲ったものは、既に事業の主管課から回答を頂いているものです。

3 資料2【事業計画及び進捗管理表（案）】

男女共同参画推進協議会の意見として、次の内容を事業の主管課及び男女共同参画管理会議に報告してよろしいでしょうか。

・異議なし・・・全委員

・異議あり

(番号と理由)

事業 NO	意見
2	達成評価が「順調」で良いのか。この進捗状況では、R2年度までの事業目標（20%）は達成できないのではないかな。
3	教育訓練における派遣の回数や人数の数値を事業計画（年度）に記載してはどうか。
4	ミニコミ紙を積極的に活用できると良いと思う。湘南ジャーナルに掲載された記事は効果的であったと思う。
1 1	自治会長のみならず、自治会内の女性にも啓発した方が良いのではないかな。 事業の目標、事業計画に、チラシを配布する旨の文言を記載するべきでないかな。また、チラシの内容は何か。 地域組織の中で若い世代であるPTA以外は、女性登用が少ない。70歳代は女性が裏方に回りたがる傾向があり、女性への啓発も必要だと思う。
1 3	時間を確保できなかった原因をしっかりと検証し、以降はそのようなことがないようにして欲しい。
1 4	積極的に各種講座が開催されていることは良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。
1 6	参加者の男女比はどれ位か、また、どの様な方法で男女共同参画意識を醸成したのか。
1 7	保育所等への入所については、資料1【平塚市の現状】に具体的な数字があるが、一時預かり、ファミリーサポート事業、病後児保育については数字がないので、ニーズにどの程度対応できているか分からない。数字を出すべきでないかな。

18	ニーズにどの程度対応できているのか分からない。「順調」が妥当な評価なのか。
19	ニーズにどの程度対応できているのか分からない。「順調」が妥当な評価なのか。
20	積極的に各種講座が開催されていることは良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。
21	<p>昨年度の教室開催は7回で今年度の予定が5回はなぜか。</p> <p>委託単価の見直しにより1回の委託料が上昇したことと、適切な周知活動を実施しているにもかかわらず参加希望者が規定数に達しないケースがH29度から続いているため。</p> <p>ニーズはあると思える。参加者が集まらなかったのは、周知方法に問題があったのではないか。</p>
22	ニーズにどの程度対応できているのか分からない。「順調」が妥当な評価なのか。
28	月間平均時間外勤務の数値が5月現在で未確定となっているが、時間を要する理由は何か。
30	積極的に各種講座が開催されており良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。
31	積極的に各種講座が開催されており良いと思う。今後、一層の拡充と共に受講者たちをボランティア活動に繋げるアフターフォローがあると、施策6「育児、介護などを社会的に支える環境づくり」や施策19「生涯を通じた健康支援」へ繋がっていくと思う。
39	「従業員の言葉の紹介」を実施するのは良いことだと思う。
42	今後の事業のあり方の検討が必要ということに同意する。

※太枠で囲ったものは、既に事業の主管課から回答を頂いているものです。

4 事務局が示した案件について

男女共同参画推進協議会の意見として、次の内容を事業の主管課及び男女共同参画管理会議に報告してよろしいでしょうか。

・異議なし・・・全委員

・異議あり

(番号と理由)

(1) 施策2「市審議会等への女性参画の推進」について

a 事業8.2の事業実績のとおり、女性委員割合が26.4%と前年度25.7%から微増したが、令和2年度までの目標値である35%には乖離している。そこで、事業8.3の次年度への対応のとおり、令和2年度は、推薦母体に対して、附属機関の担当課ではなく、行政総務課と当課の職員が直接依頼することとしているがどうか。

行政総務課と当課の職員が直接依頼することとし、附属機関の担当課にも引継ぎを行うとともに、意識啓発を働きかける。

b 事業8.2(22市民情報・相談課)の事業の目標について、「性別を問わず～」という表現が入るのは、施策の趣旨にそぐわないので、後期の初年度である令和3年度になるタイミングで令和5年度までの目標の文言を変更してはどうか。

「性別を問わず～」の文言はこの施策の趣旨にそぐわないので、削除すべきである。事業70, 71, 72の事業の目標も同様である。

(2) 施策9「市役所におけるイクボスの推進」について

a 事業29の事業実績のとおり、宣言者の割合は86.6%と前年度89.9%から3ポイント下がった。次年度への対応のとおり、引き続き研修を実施する他に、市の組織決定としての取組であることを周知するとしているがどうか。また、未宣言者の意識を高めるための取組として他に有効な手段が考えられるか。

市の組織決定であることは周知すべきである。また、未宣言者にはヒアリングを行い、宣言しない理由を明確にするとともに、既に宣言している職員からも働きかけを行えば良いと思う。

(3) 施策 16 「DV 防止のための啓発」について

a 事業 54 について、令和元年度までに中学校 8 校、高等学校 3 校において開催した。しかし、中学校からの希望が多く、また高等学校においては、県の事業で同様のものを実施する予定であるため、今後は中学校を重点的に行い、次年度への対応は中学校 5 校での開催とするがどうか。

DV は加害者、被害者共に無自覚な場合がある。出来るだけ若い世代からの啓発が重要であり、中学校の実施に重点を置くことは良いと思う。

b また、同一校での複数開催も考えられるため、令和 2 年度までの事業の目標を「中学校 8 校、高等学校 4 校」としているが、「延べ 12 校」と変更し、令和 5 年度までの事業の目標においても「中学校 15 校、高等学校 8 校」から「延べ 23 校」と変更としたいがどうか。

令和 2 年度までの事業の目標を「延べ 12 校」と変更し、令和 5 年度までの事業の目標を「延べ 23 校」と変更で良いと思う。

5 事務局が示した案件について（新規）

男女共同参画推進協議会の意見として、次の内容を事業の主管課及び男女共同参画管理会議に報告してよろしいでしょうか。

・異議なし・・・全委員

・異議あり

(番号と理由)

事業 8.2 の附属機関の進捗管理方法について、前期は、課ごとに 1 シート（管理票）で進捗を追った。しかし、複数の附属機関を持っており、順調なものと遅延しているものが混在している場合、評価するのが難しく、また最終評価では、1 つでも目標に達していなければ未達という評価になる。

女性委員の割合を上げるための取組として、どの程度どのように取り組んだかについては、課としての評価も必要ではあるが、附属機関の性質による難しさなど、課題分析していくためには、附属機関ごとに 1 シートでの進捗管理、評価が必要なので、後期から附属機関ごとにシート（管理票）を作成してはどうか。